

伊住代表ご挨拶

その昔、京都青少年活動推進会議という長い名前の団体がありました。もう御存知の方は少なくなってきましたが、この団体こそ、ゆめっと京都を立ちあげる為の原動力であったといえるでしょう。私は、この団体に関わることから青少年団体の交流に携わってきたのです。25才から指おり数えてみると、もう17年の歳月を経ていることにあらためて驚きを隠せません。お陰様で今日まで、多くの事業にかかわり、又、多くの友と出会いました。その中で学んだことは多く、すべて今の私の財産になっているように思えます。この数年、多忙を理由に充分なお役に立てなかったことは残念でしたが、正直に言えば大きな荷物をおろした様な安堵感を今感じています。これからはお邪魔にならない様に北村会長はじめ皆さんのサポートを陰ながらさせていただくつもりでおります。新しい役員の方々は本当に御苦労様ですが、ゆめっとの更なる充実の為、頑張ってください。

ゆめっとは自身が活動体であり、又交流団体であるという非常に複雑な立場をもったネットワークではあります。いろいろな制約の中で楽しむためには、時間もお金も限られている事は事実です。けれども、そこをなんとかやってやろう!というのも又、若者の特権です。そのヤンチャを先輩達はどうか暖かく見守ってください。あえて言えばゆめっとに伝統は必要ありません。常にあたらしく常に元気よく時代を駆け抜けてほしいのです。いつも新鮮であること!を目指して心からのエールを送りたいと思います。老兵は去るのみ!卒業します!バイバイ!

伊住 政和

竹内幹事長ご挨拶

この度、多くの人々に助けられ、教えられたゆめっと幹事長を任期満了に伴い退任いたします。

思い起せば、5年半前、設立準備委員会で「京都青少年ゆめネットワーク、愛称ゆめっと」の名称制定、設立主旨、自立、共生、貢献の基本コンセプト等、熱き思いで語り合いました。その後、副幹事長、第1回ゆめっとフェスタ実行委員長を兼任しゆめっとをアピールするべく努力致しました。幸い亀岡のフェスタでは23000人の来場が有りそれなりの成果があったと自負しています。しかし幹事長就任後は、内部の拡充とより良いネットワークの構築を目標に掲げましたが、力不足と、ゆめっとに対する共通認識不足、会員に対する説得力不足でこれといった成果を上げられず、結果が出せなかった事を残念に思っています。役員の方々にも牽引力不足で迷惑を掛けました。ただ次期の代表に北村氏という沈着冷静で実行力が有り思慮深くすばらしい方を選出できた事を誇りに思います。

退任にあたり、私が5年半関わったなかで、というよりも18年間の青年会活動の中で最も重要なのは「共生」だと確信しております。お互いの違いを認め合う事で一緒に活動を展開するから、ネットワークが構築出来ると。皆さんも参加し集い、会って顔を見て、情熱を燃やして次期代表を盛り立てて活動してください。

多くの皆さん長い間ありがとうございました。これからもゆめっとの発展を裏方からサポートし見守って行くつもりです。

竹内 文成

編集後記

2年前、「ゆめっと京都に加盟する団体のお互いの顔が、なんとか見えないものか」と試行錯誤して始めた『ゆめっと図鑑』。お忙しい皆様の手を煩わせながら、なんとかほとんどの団体を紹介することが出来ました。調査表の返りが悪く、何度もお願いをしてきましたが、お返し頂けなかった団体があることは非常に残念です。しかし、ほとんどの団体は調査表の主旨をご理解頂き、ご協力頂けたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。有難うございました。

『ゆめっと図鑑』を連載するうちに、これだけでは足りないことを再認識し、今度は、相互交流に利用できないかと『使えるINDEX』を思案中です。直接、お互いに連絡をとれなくても、ゆめっと京都に「こういうことをしたいけど、どこか協力してくれそうな団体ないかなあ」とか「こんなことを教えてほしい」「適当な場所ないかなあ」など、ゆめっと京都が今後、団体や個人間のコーディネーターとしての役割を担えるようなものを作れるようにしたいと考えています。秋くらいになるかもしれませんが、このままファイルに閉じてお待ち下さい。

2年間の広報活動を振り返ると、反省する事ばかり。広報委員長という役職に就きながら、力不足で申し訳ない気持ちで一杯です。これからの2年間はまた新しい体制の広報委員会が活動します。いろいろなお叱りやご不満はあると思いますが、今後もゆめっと京都は、試行錯誤しながら、皆様のご協力や叱咤激励を頂きながら、進んでいきます。まだまだ若い組織です。つまりいたり転んだり、心配ばかりかけるかもしれませんが、どうぞ暖かく見守り、また協力して下さい。そして、ゆめっと京都を作っているのは、皆さん「ひとりひとり」だという意識をもって、いろいろなことに参加してみてください。今まで見えなかったものや、出会えなかった人達に出会えたりするかもしれません。それは、皆さんにとって「素晴らしい財産」に成りうるものではないでしょうか？

至らない広報委員長を支えてくださった皆さんに心から感謝しています。

そして、これからも「ゆめっと京都」を、どうぞよろしくおねがいします。

ゆめっと京都 平成10年度～11年度 広報委員長
近畿青年洋上大学京都府同窓会 黒田 恭代